

4-3.

サービスの設計～学習者が自機関での研究データ管理サービスを構築するためのステップ

サービスの設計

機関の状況によってサービス設計を進める主体、順序は異なるが、海外の研究機関の経験を参考にしながら全学レベル／部門横断的に取り組むことが、研究データ管理サービス設計の成功のカギ

メモ

DCCの勧める 研究データ管理サービス設計のためのアクション

1. 研究データ管理に取り組む組織体制づくり

研究担当理事や副学長のリーダーシップのもと、研究データ管理を主幹する委員会等を設定する

実際に業務を実施する責任と技能を備えたメンバーで構成される研究データ管理チームを設置する

2. サービス設計のための調査

自機関における研究データ管理の現状やニーズを把握する

3. サービスの試行、評価

政策や助成機関など外部からの要求にも合致し、自機関の現状や文化にも合うサービスを設計する

サービスを試行し、結果を検証し、実施する

メモ

組織体制

研究データ管理に取り組む組織体制づくり

研究者以外のステークホルダーの特定

担当の副学長、理事

ITスタッフ

図書館職員

URA/リサーチ・アドミニストレーター

研究コンプライアンス担当

研究室秘書

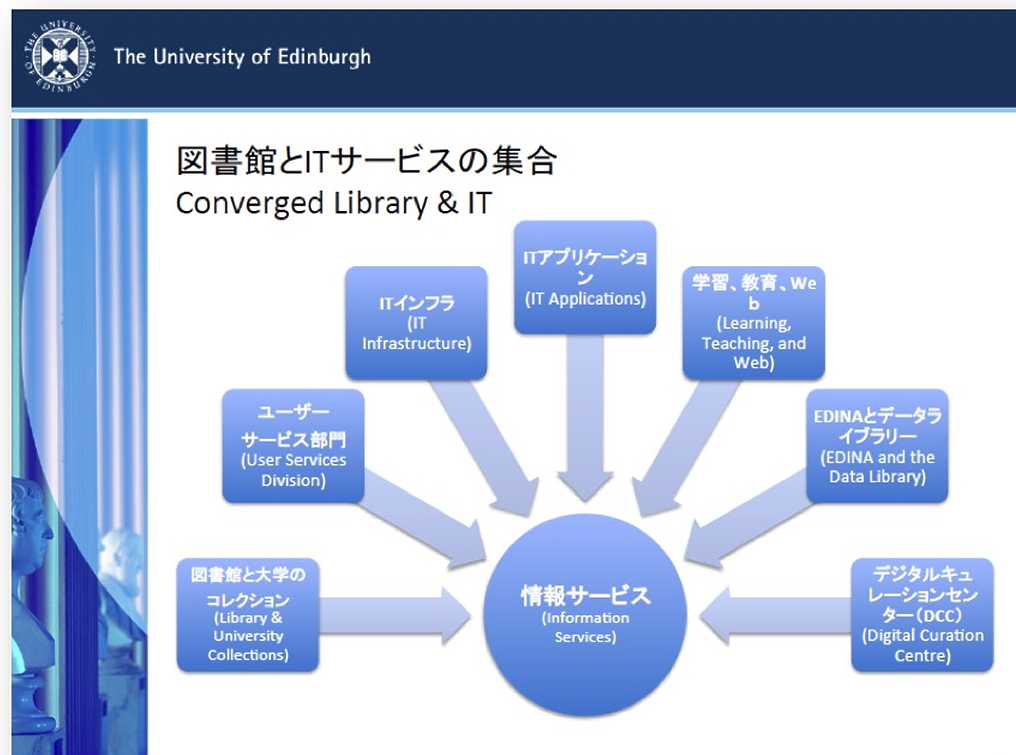
事務職員

ステークホルダーをもれなく想定し、それぞれの役割に応じて全学レベルの研究データ管理に取り組んでもらう組織をつくる。

メモ

事例

組織体制の事例： エディンバラ大学



メモ

調査の目的と方法

サービス設計の前にまずは調査を実施し、自機関の研究者の研究データ管理の実態やニーズを把握する

目的

研究者が取り扱っているデータの実状を定量的に把握し、管理基盤整備の参考とする。

研究者の研究データ管理に対する予備知識や意識を把握し、必要な研修や、アドボカシー活動の計画に活かす。

推奨される方法

アンケート調査

インタビュー調査

メモ

調査の目的と方法

参考

DAF (Data Asset Framework) =研究データを資産と捉えた一連の調査の枠組み。イギリスの大学で実施例がある。

<http://www.data-audit.eu/>

http://www.data-audit.eu/docs/DAF_Implementation_Guide.pdf (具体的な質問項目が紹介されている)

RDM Rose 2015 > 3.1 DAF surveys / 2.6 Interviewing a researcher

http://rdmrose.group.shef.ac.uk/?page_id=1061

メモ

アンケート調査

アンケート調査

設問の一例

- 研究データの種類は何ですか？
 - ▶ 文書、スプレッドシート、生データ、データベース、ノート、etc.
- 現在の研究プロジェクトで生み出されるデータの容量はどれくらいですか？
 - ▶ 1GB以下、1～50GB、・・・100TB以上、不明
- 研究データの共有について下記にどれくらい同意しますか？
 - ▶ 「他の研究者がデータを共有していたら使いたい」
 - ▶ 「私の研究データはすべてリポジトリに登録する」
- 研究データ管理に関する研修に興味はありますか？
 - ▶ 著作権と知的財産
 - ▶ データ管理計画の作成方法

メモ

インタビュー調査

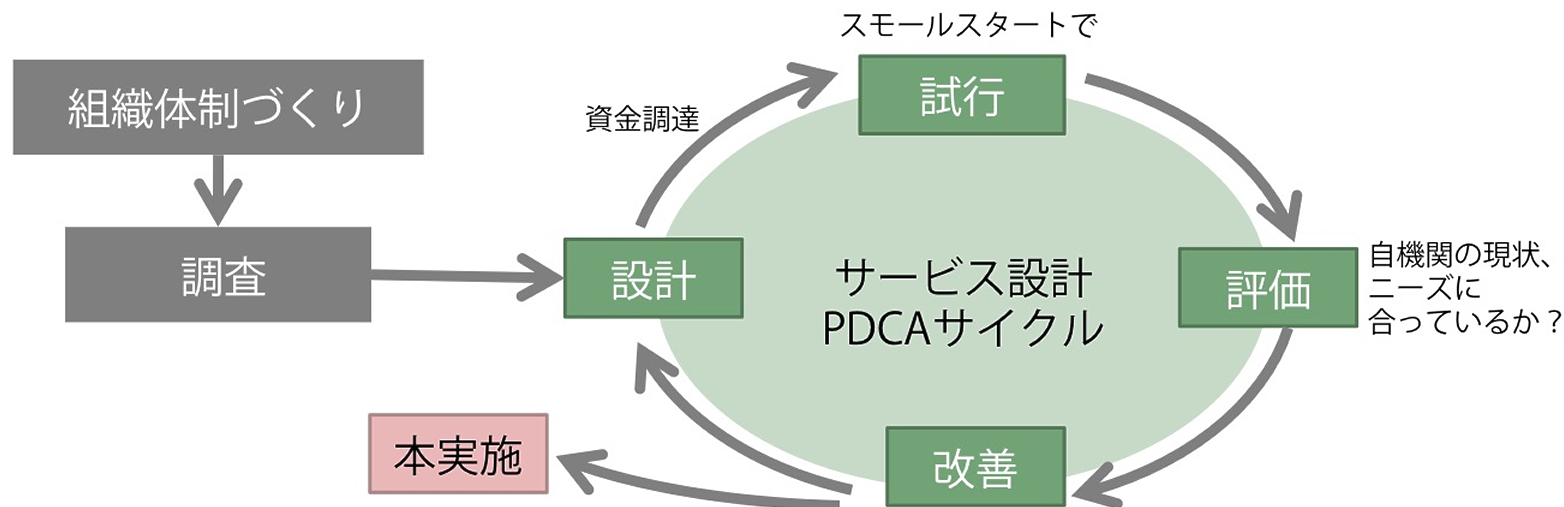
インタビュー調査

設問の一例

- あなたの研究分野について教えてください。
- あなたが保有している研究データについて、もう少し詳しく教えてください。
 - ▶ ID、著者、保有者、タイトル、形式、サイズ、etc.
- 研究助成金の申請の際、あるいは採択後にデータ管理計画を作成したことはありますか？
- 共同研究のときにデータの扱いについて問題はないですか？
- データはどのようにバックアップをとっていますか？その際、何か問題はありませんか？
- あなたの研究データ管理について、大学からどのような支援があるとよいですか？

メモ

試行、評価



- 研究データ管理サービスの定着は長期的計画で
- オンラインストレージなど管理基盤の提供（ハード）、相談窓口やトレーニングなどの人的支援（ソフト）ともに、試行と評価、改善をくりかえしながら、自分の機関に合ったサービスを構築し、組織内の意識を高めていくことが重要

メモ